

伊豆シャボテン動物公園

動物たちの赤ちゃん誕生! ベビーラッシュふたたび

～ オリイオオコウモリ、ベネットワラビー、アネハヅル、テンレック、プレーリードッグ ～

2019年5月11日
株式会社伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン動物公園では、春に続き動物たちのベビーラッシュが再び到来しました。新たに誕生した動物の赤ちゃんは、オリイオオコウモリ、ベネットワラビー、アネハヅル、ヒメハリテンレック、プレーリードッグなどです。

赤ちゃんたちは、母親のおっぱいを飲んだり兄弟とじゃれあったりとすくすくと成長しています。お母さんの後についてちょこちょこ歩きまわる愛らしい姿や家族の仲睦まじい様子は、園内各所にて見るすることができます。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL：0557-51-1115（代） URL：<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4





オリオオコウモリ

- 【英名】 Orii fruit bat, Orii flying fox
【学名】 *Pteropus dasymallus inopinatus*
【分類】 コウモリ目オオコウモリ科オオコウモリ属
【分布】 日本南西諸島、台湾
【形態】 体長：約 20cm、前腕長：約 13cm、羽開長：50～60cm、体重：300～400g
【生態】 オリオオコウモリは、森林内で単独または小さな群れ、時には大きな群れを形成して生活し、谷間の斜面や樹幹部でよく見られる。昼間活動することもあるが夜行性で、ふつう日中は森林内の木の枝にぶら下がって休み、夕方から夜間にかけて活動し果実類、花や葉、昆虫類などを食べる。

2019年5月3日誕生 1頭の赤ちゃんが誕生 <場所> シャボテン温室内「ジオラマ」展示場

【当園のオリオオコウモリ】

当園では2017年10月よりオリオオコウモリの飼育・展示を開始し、今回の繁殖により5頭となりました。

【最近のオリオオコウモリの赤ちゃんの様子】

順調に成長中で母親のお腹に自分でしっかりつかまり、時々動き回っている様子が見受けられます。

※母親が翼で包むように育児をしているため、日中は赤ちゃんを視認することが難しい場合があります



2019年5月1日 初めて袋から顔を出しました
<場所>カンガルーの丘

ベネットワラビー

- 【英名】 Bennett's Wallaby, Red-neckd Wallaby
【学名】 *Macropus rufogriseus*
【分類】 有袋目カンガルー科ワラビー属
【分布】 オーストラリア東部、タスマニア島
【形態】 頭胴長：65～90cm、尾長：60～80cm、体重：11～27kg
【生態】 下草が豊富な森林などに生息し、草、木の葉、樹皮や果実を食べる。妊娠期間は約1ヶ月で1産1仔。生まれたばかりの赤ちゃんは体長約2cm、体重1gで、生まれるとすぐ育児嚢に入り6ヶ月ほどすると袋から顔を出し始める。そのため当園では、赤ちゃんが袋から顔を出して仔が確認できた段階を“赤ちゃん誕生”としている。その後は生後約8ヶ月で袋から出入りするようになり、約1年で自立(乳離れ)となる。

【当園のベネットワラビー】

当園では4頭のベネットワラビーを飼育しておりますが、1頭の赤ちゃんが袋から顔を出し繁殖が確認されたため計5頭となりました。

【ベネットワラビーの赤ちゃんの様子】

暖かい日は母親ハイネの袋から頻りに顔を出すようになりました。



2019年4月23日孵化 1羽の赤ちゃん
<場所>バードパラダイス内

アネハヅル

- 【英名】 Demoiselle Crane
【学名】 *Anthropoides virgo*
【分類】 ツル目ツル科アネハヅル属
【分布】 東ヨーロッパからアジア中央部
【形態】 全長：約90cm、翼開長：160～180cm、体重：2～3kg
【生態】 東ヨーロッパからアジア中央部の温帯域で繁殖し、冬期はインドから中東、北東アフリカ、中国などに渡り越冬する。5,000～8,000mもの高度を飛ぶことができ、ヒマラヤ山脈を越える渡りをする鳥として有名。食性は植物食を主とした雑食性で、昆虫・小型哺乳類・果実や種子などを食べる。繁殖期は4～7月で、一度に通常2個の卵を産み、雌雄共同で抱卵する。卵は30日弱で孵化し育雛も共同で行う。雛は3ヶ月ほどで成鳥と同じ大きさになり、この時期になると群れに混ざって渡りをすることもある。

【当園のアネハヅル】

今回1組のペアが産卵・孵化したことにより計10羽となりました。

【アネハヅルの赤ちゃんの様子】

雛は順調に生育しており、親鳥のあとをちょこちょこと追いかける愛らしい姿がお客様の人気を集めています。



2019年4月21日 7頭の赤ちゃんが誕生
＜場所＞わくわくモンキーハウス 2F「タッチ de ZOO」

ヒメハリテンレック

【英名】 Lesser hedgehog tenrec, Small Madagascar hedgehog tenrec

【学名】 *Echinops telfairi*

【分類】 テンレック目テンレック科ヒメハリテンレック属

【分布】 マダガスカル南部～南東部のサバンナ地帯

【形態】 体長：約13～17cm、体重：200～250g

【生態】 ハリネズミによく似ており、顔とお腹以外には細かい棘が生えている。この棘は体毛が変化したもので、天敵から襲われそうになった際に身体を丸める事によって身を守る。繁殖期は10月頃が多く、妊娠期間は50～65日で基本的には一度に5～7頭を出産する。3～4週間ほどの授乳期間を経て、早ければ6ヶ月程で性成熟に達する。

【当園のヒメハリテンレック】

当園では5頭のヒメハリテンレックを飼育しており、今回1組のペアに7頭の赤ちゃんが誕生したことにより、計12頭となりました。

【ヒメハリテンレックの赤ちゃんの様子】

当初は身体の大きさに大小の差がありましたが、現在は7頭とも順調に成長しています。最近では、ミルク以外にも親と同じものを食べるようになってきました。



2019年3月16日 3頭の赤ちゃんが誕生
＜場所＞ロックガーデン「プレーリードッグ」展示場

オグロプレーリードッグ

【英名】 Black-tailed prairie dog

【学名】 *Cynomys ludovicianus*

【分類】 齧歯目リス科プレーリードッグ属

【分布】 北米の草原地帯

【形態】 体長：約30～40cm、尾長：約7～10cm、体重：700～1,400g

【生態】 とても社会性が強く、何百頭もの個体がいる「タウン」（地下に張り巡らされたトンネルと部屋のネットワーク）に暮らす。タウンは「コテリー」と呼ばれる小集団に分かれ、同じコテリー同士は匂いにより他と区別している。食性は草食性で主にイネ科やカヤツリグサ科を食べる。リスの仲間であるが鳴き声が犬に似ている為、プレーリー（草原）のドッグ（犬）と呼ばれる。子どもは生後6週で地下から外へ出てきて、コテリーのメンバー全員に面倒を見てもらう。

【当園のオグロプレーリードッグ】

今回1組のペアに3頭の赤ちゃんが誕生したことにより計12頭となりました。

【最近のオグロプレーリードッグの赤ちゃんの様子】

展示場内を自由に動き回り、ときどき母親や仲間の鼻に触れて相手を識別するためのあいさつのような行動をとります。イネ科の青草を与えると両手でしっかり持ちおしそくに食べます。

伊豆シャボテン動物公園

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317-13

TEL : 0557-51-1111(代) URL : <https://izushaboten.com/>

営業時間：〈3月～10月〉9：00～17：00、〈11月～2月〉9：00～16：00

入園料金：中学生以上 2,300円、小学生 1,100円、幼児(4歳以上) 400円、年中無休